

恵庭岳の火山活動解説資料（令和2年12月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1～2）

7日に上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）を実施しました。山頂東側の爆裂火口内では弱い白色噴気が認められ、前回の観測（2019年8月）と比べて、噴気の勢いや量、地表面温度分布に変化はありませんでした。



図1 恵庭岳 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています。

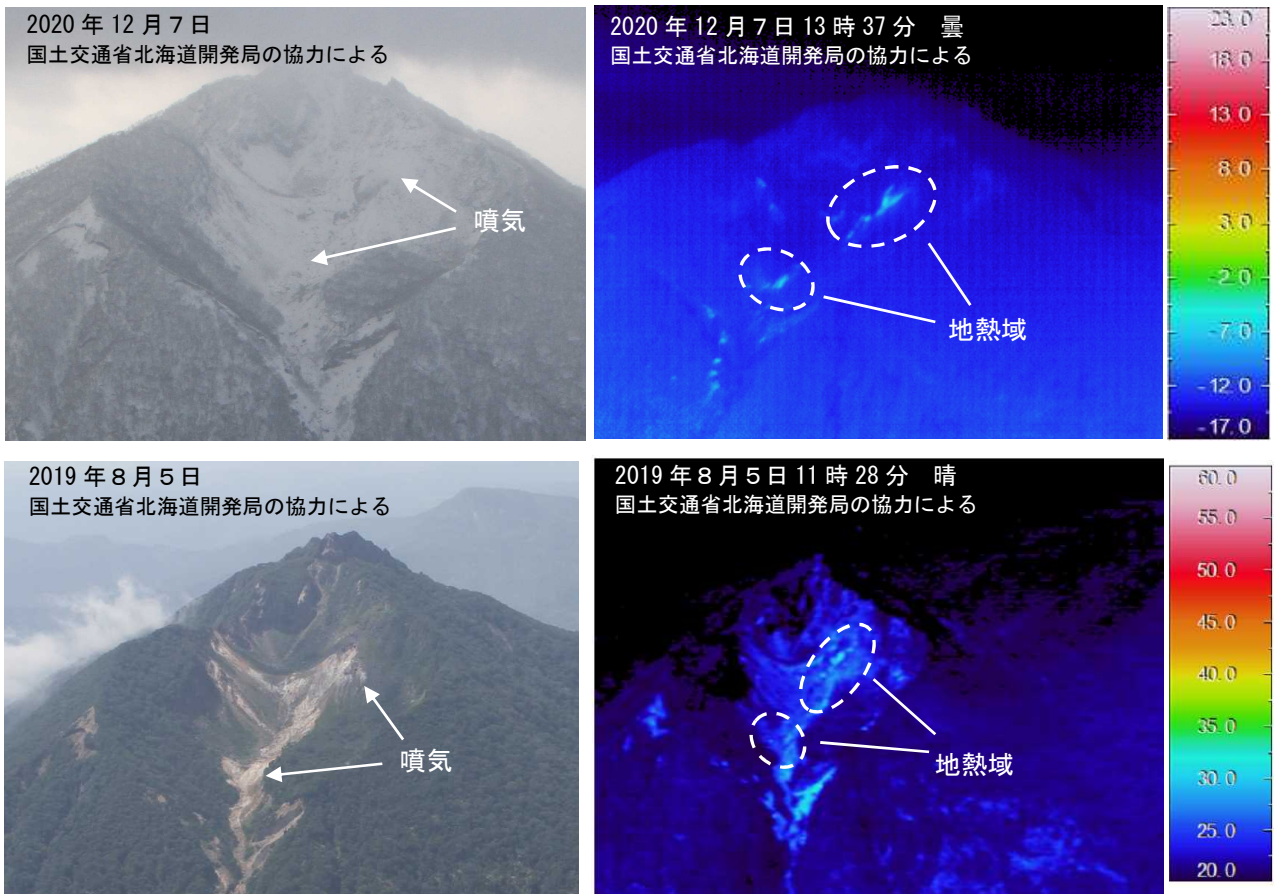


図2 恵庭岳 赤外熱映像装置による恵庭岳山頂東側爆裂火口の地表面温度分布

左上図：東北東側上空（図1の①）から撮影

右上図：北東側上空（図1の②）から撮影

下 図：北東側上空（図1の③）から撮影

- ・ 前回の観測（2019年8月）と比べて、噴気の状態や地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした（2019年8月の地表面温度分布には日射の影響が含まれています）。